

### 大中遺跡・山之上遺跡採集品1件(195点) 町指定文化財に指定

播磨町の大中遺跡から西に続く加古川市の山之上遺跡にかけて広がる台地や溜池で、昭和39(1964)年から11年間にわたって7人の考古学に興味を抱いた学生によって旧石器時代のナイフ形石器、縄文時代や弥生時代の石鏃などの石器が採集されました。特に旧石器時代(約3万年前)から縄文時代草創期(約1万年前)の人びとが作った石器は播磨地方の旧石器時代研究の先駆けとなった重要な資料であることが分かりました。

これらは令和2年に石器・実測図などが播磨町郷土資料館に寄贈され、その重要性から令和4年2月に播磨町指定文化財(考古資料)に指定されました。

これらの石器は、下記の企画展でご覧いただけます。ぜひご観覧ください。

#### 企画展 大中遺跡のはじまり —氷河期を生きた旧石器人—

▶期間 4月16日(土)～7月3日(日)  
▶場所 郷土資料館展示室



### 郷土資料館

☎079(437)5000

5月の休館日 2日、9日、16日、23日、30日

#### ビー玉木琴をつくらう

八角形の立体的な木琴がやさしい音色を奏でます。

▼日時 5月3日(祝) 午前10時～正午

▼場所 学習室

▼対象 小学生

▼定員 先着8人

▼費用 300円

※事前申し込みが必要です。

#### 牛乳パックで和風小物入れをつくらう

牛乳パックを再利用して小物入れを作ります。

▼日時 5月8日(日) 午前10時～正午

▼場所 学習室

▼対象 小学生以上

▼定員 先着8人

▼費用 200円

※事前申し込みが必要です。



#### ひょうたんで人形をつくらう

ひょうたんに千代紙を貼って、かわいい人形を作ります。

▼日時 5月15日(日) 午前10時～正午

▼場所 学習室

▼対象 小学生以上

▼定員 先着8人

▼費用 200円

※事前申し込みが必要です。



郷土資料館

### 図書館の今月の本だな

#### おとなの本

- 字が汚い! 新保 信長/著
- みるみるつながる仏像図鑑 三宅 久雄/監修
- 付度しません 斎藤 美奈子/著
- 失敗だらけの人類史 ステファン・ウェイア/著
- 日本飛び出しくん図鑑 関 将/著

**一般展示「図書館でジャケ借り！」**  
中身がわからないまま、ジャケット(表紙)の印象だけで購入する「ジャケ買い」。思わぬ出会いがあったりするものです。図書館の本も、その時の気分や装丁のデザインなど、いつもと違う視点で選んでみるのはいかがでしょう。今月は中身が気になる、表紙が好奇心をくすぐるような本をご紹介します。

#### こどもの本

- おべんとうばこのなから 中川 ひろたか/文
- くまごろうのだいぼうけん ブライアン・ワイルドスミス/作・絵
- ベッドのなかはきょうりゅうのくに まつおか たつひで/作・絵
- むしとりにいこうよ! はた こうしろう/作
- おべんとうをたべたのはだあれ 神沢 利子/作

**児童展示「今日はどこへ行こうかな？」**  
なかなかおでかけできない時も、本の中ならどこへでも行ける!本の主人公になった気分でお弁当を持ってピクニックをしたり、電車やバスに乗って山や海、冒険や空の旅へ出発しよう!どこに行こうか迷ってしまうような、楽しい「おでかけ」の本を集めました。

### 図書館

☎079(437)4500

5月の休館日 11日、25日

▼定例の催し

●ひよこのおはなし会

▼日時 5月3日(祝) 午前11時～11時30分

### 絵本をたのしむ会

▼日時 5月10日(火)、17日(火)、24日(火)

▼場所 児童書コーナー

▼おはなし会

▼日時 5月7日(出)、14日(出)、21日(出)、28日(出)

▼日時 午後3時～3時30分

### はりま読書の会

▼場所 2階視聴覚室

▼日時 5月15日(日) 午前11時～正午

▼場所 2階視聴覚室

▼対象 中高生～一般

▼定員 先着8人

▼持ち物 おすすめ本1～2冊程度

●英語DEえほん

▼日時 5月22日(日) 午後3時～3時30分

▼場所 児童書コーナー

### 文学講座

「現代文学講座～さまざまに生きる方を探る～」をテーマに文学講座を行います。

### 開催日・テーマ 全4回

第1回 6月9日(木)	宮沢賢治 ～多様な才能を広げて～
第2回 6月23日(木)	宮尾登美子 ～困難を乗り越える強さ～
第3回 10月6日(木)	宮本輝 ～関西という風土の中で～
第4回 10月20日(木)	宮城谷昌光 ～英雄たちの残したモノ～

※テーマは変更になる場合があります。

▼時間 午前10時～正午

▼場所 中央公民館 2階視聴覚室

▼定員 50人

▼費用 1千円(講座4回分の資料代)

▼講師 松帆知昭(兵庫県いなみ野学園講師)

▼申込期間 5月6日(金)～6月7日(火)

▼申込方法 電話での申込みはできません。直接、図書館2階・事務室へ費用を添えて、お申し込みください

▼共催 播磨町中央公民館、播磨町立図書館

▼問合せ 図書館 ☎079(437)4500

▼つくり会・はる「ハーバリウム風のキラキラボトルをつくらう！」

▼日時 5月15日(日) 午後2時～3時(受付午後1時45分)

▼場所 2階学習室

▼対象 4才～小学6年生(小学3年生以下は保護者同伴)

▼定員 先着7人

※付添いの人は原則1人までとさせていただきます。



町立図書館

### 中央公民館

☎079(437)6980

5月の休館日 15日

#### 漢字検定試験の受検者募集

子どもから大人まで自分の力に応じて受けることができます。みんなで挑戦し

級	検定時間	検定料
2級	11:00～12:00	3500円
準2級～4級		2500円
5級～7級	9:30～10:10	2000円
8級～10級		1500円



中央公民館

### スポーツクラブ21はりま

☎079(437)2201

5月の休館日 23日

#### 第24回スポーツDOM恋活

「婚活パーティーはちょっと…」というあなたに、スポーツを楽しみながら素敵な出逢いを探してみませんか。

▼日時 6月10日(金) 午後7時30分～9時30分

▼場所 シーサードーム

▼対象 25歳からおおむね40歳の独身男女

▼定員 男女各20人

▼費用 男性1千500円、女性1千円

### 子どもたちの

#### かがやく未来のために

親子のコミュニケーションを

家庭教育コラム

親子のコミュニケーションは、子どもの成長に欠かせない大切なものです。特に小学校低学年の頃は、親の愛情を確かめたいと、「ねえ、ねえ」と話しかけてきます。親が聞いてあげると子どもは安心して、親との愛を深めます。また、子どもは話をしながら頭の中で自分の考えをまとめ、思考力を深めています。

でも、忙しくて子どもの話を聞く時間が…という方もいると思います。そういう方にオススメしたいのが、「親子のコミュニケーション」を決めて、何でも話せる時間を共有するという方法です。お子さんと2人だけになれる時間がありますか?例えば、「夜寝る前の時間」「食事の時間」「送り迎えの車内」「お風呂の中」などを利用します。短い時間でも親がリラックスし、子どもが安心していろいろな話ができる時間を作れたら、その後の子育てがもっと楽になります。

忙しい毎日の中でも少し工夫して、今しかない子どもとの時間を大切にしたいものです。



### 第11回SC21はりま杯 ふれあいダーツ大会

- ▼日時 6月4日(出) 午前9時30分～12時30分
- ▼場所 南部コミセン
- ▼対象 小学4年生以上町内在住・在勤・在学またはSC21はりま会員
- ▼定員 先着30人
- ▼費用 1人300円(S C21会員200円)

### 第11回SC21はりま杯 ソフトバレーボール大会

- ▼日時 6月12日(出) 午前9時～午後3時
- ▼場所 総合体育館
- ▼募集部門 レディースの部(女子4人で構成) トリムの部(男女各2人で構成)
- ▼定員 各部門16チーム
- ▼費用 1チーム2千500円

### 第11回SC21はりま杯 ふれあい卓球大会

- ▼日時 6月26日(出) 午前9時～午後5時
- ▼場所 総合体育館
- ▼対象 町内在住・在勤・在学または町内クラブ在籍の人

- ▼定員 先着36組72人
- ※混合ダブルス団体戦
- ▼費用 1人600円(S C21会員500円)

### トレーニング教室

- 修了後は、総合体育館トレーニング室を利用できます。
- ▼日時 6月11日(出)、25日(出) 午後7時30分～9時(いずれか1回)
- ▼対象 16歳以上
- ▼定員 各教室先着10人
- ▼費用 千円
- ▼申込み 5月1日(出)から受付開始。費用を添えてお申し込みください



SC21はりま

**地域連携交流施設  
はりまデザインラボ**  
☎079(437)0141  
休館日 毎週日曜日

### 親子ふれあい遊び

- ▼日時 5月21日(出) 午前10時～11時30分
- ▼講師 Cistaco氏
- ▼内容 リズムダンス、ミ

- 二工作など
- ▼定員 先着親子10組
- ▼対象年齢 1歳～6歳の未就学児
- ▼持ち物 タオル、水筒
- ▼申込み 電話または窓口へ申し込みください

### 定例の催し

- ダンスちやれんじ  
障害のある子どもの体力作りをやっています。
- ▼日時 5月12日(出)、26日(出) 午後4時30分～5時30分
- ▼費用 1千500円(月会費)

### 大人のぬりえ

- ▼日時 5月2日(出)
- 午前10時～正午
- ▼持ち物 色鉛筆、お茶
- ▼費用 200円

### グリーンボランティア ア募集

- ▼日時 5月12日(出) 午前10時～11時30分
- おりぞめくらぶ  
▼日時 5月4日(出) 午前10時～正午
- ▼持ち物 汚れてもいい服
- ▼費用 1回1千円
- 折り紙教室  
▼日時 5月17日(出)

- 午前10時～正午
- ▼費用 600円(材料費など)



地域連携交流施設

**加古郡  
リサイクルプラザ**  
☎079(437)7671  
毎週月・火曜日休館

### 母の日のカーネーション作り(紙バンド工作)

- 紙バンド(再生紙)を使って、カーネーションを作ります。
- ▼日時 5月7日(出) 午前9時30分～正午
- ▼対象 小学生以上
- ※小学校低学年は保護者(体験者1人につき大人1人のみ)同伴で体験してください。
- ▼定員 10人
- ▼費用 400円

- ※加古郡外にお住まいの方は、費用が2割増しになります。
- ▼持ち物 洗濯ばさみ(小)10個

### 県立考古博物館

☎079(437)5589  
5月の休館日 9日、16日、23日、30日

### 大中遺跡発見60周年記念 春季特別展「弥生集落転生 —大中遺跡とその時代—」

- ▼期間 7月3日(出)まで
- ▼時間 午前9時30分～午後6時(入場は5時30分まで)
- ▼場所 特別展示室
- ▼観覧料 大人500円、大学生400円(各種割引有り)、高校生以下無料

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、施設をご利用の際はマスクの着用、手指消毒などのご協力をお願いします。  
また、状況によって広報はりまに掲載している情報は、変更や延期、中止をする場合があります。ご了承ください。

### 特別展解説

- ▼日時 5月21日(出)、28日(出) 午後1時30分～2時
- (当日受付)
- ▼場所 特別展示室
- ※観覧券が必要です。

### ゴールデンウィークイベント 「大中遺跡クイズラリー」

- 博物館内や大中遺跡を巡り、クイズに挑戦します。
- ▼日時 5月3日(出)～5日(出) 午後1時～3時30分
- (当日受付)
- ▼場所 博物館内外
- ▼定員 各日100人
- ※観覧券が必要です。

### 講演会 弥生時代の兵庫① 「弥生時代について」

- ▼日時 6月18日(出) 午後1時30分～3時
- ▼場所 講堂
- ▼講師 和田晴吾(当館館長)
- ▼定員 72人(予約が必要)
- ▼申込み 5月31日(出)

### 講演会 弥生時代の兵庫② 「石・鉄・銅の武器— 弥生時代の兵庫—」

- ▼日時 6月25日(出) 午後

### 講演会 弥生時代の兵庫③ 「弥生時代の姫路—最近 の発掘調査成果から—」

- ▼日時 7月2日(出) 午後1時30分～3時
- ▼場所 講堂
- ▼講師 福井優(姫路市埋蔵文化財センター)
- ▼定員 72人(予約が必要)
- ▼申込み 5月3日(出)～6月14日(出)

### 申込み方法

講演会の申し込みについては、オンラインか往復はがきでの事前予約が必要です。定員を超える場合は、抽選となります。詳細については、考古博物館ホームページをご覧ください。



県立考古博物館

**施設・登録団体、  
各種団体からの  
お知らせ**

### 播磨町国際交流協会 国際交流 イン はりま

- 国際交流会を開催します。近隣に在住の外国の方々と一緒に文化紹介やゲームで交流しませんか?
- ▼日時 5月22日(出) 午前10時30分～正午(午前10時15分～受付)
- ▼場所 中央公民館 ホール
- ▼費用 会員 無料、非会員 1千円(小中高生については、お問い合わせください)
- ▼申込み 5月13日(出)
- ▼定員 先着20人
- ▼申込み・問合せ 播磨町国際交流協会 ☎079(435)0356
- Eメール harimacho-ifa@bb.banban.jp



国際交流協会

### まちづくりや地域活動の相談など、お声かけください

まちづくりアドバイザーが届けます  
**まちアド通信**  
企画グループ ☎079(435)0356

播磨町では2020年4月よりまちづくりアドバイザーを配置しています。播磨町のまちづくりや地域活動に関することであれば、どんなことでも相談ください。企画グループに週3日程度います。

まちづくりアドバイザー制度が始まって2年が経ちました。この2年間で自治会、サークル活動、空き家活用など、様々なご相談をいただきました。コロナ禍ではあるものの、例えば、野添コミセンではスマホサポーター養成講座が始まったり、自治会では密にならないように屋外の行事を企画したりと、それぞれに工夫をこらしながら、徐々に地域活動が再開している印象を受けています。

2021年度は、毎週各コミセンを巡回しておこなっている「まちアドおしゃべり会」をきっかけに多くの相談を寄せていただきました。例えば、自主防災組織と自

治会の関係を整理したり、自治会の会計の相談(ごも会の継続の模索など、今後に向けた活動や組織の整理、新しい仕組みづくりに関するもの)が大半でした。また、転入者の方から新しい活動を始めたという相談が複数あったのも印象的でした。播磨町が元気になるためには、世代や分野を問わず、大小様々な活動がひろがると思います。新しい活動を始めたり、活動の見直しをすすめる際、なかなか自分たちだけでは難しい場面もあります。そんなときはぜひ、気軽にまちづくりアドバイザーまでお声がけください。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、令和2年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。